



医療法人社団 大日会

小金井太陽病院



患者さまへ大切なお知らせ

# 後発医薬品・バイオ後続品の 使用促進について

— 2026年度（令和8年度）診療報酬改定に伴うご案内 —

当院では、医療の質の向上と医療費の適正化を図るため、厚生労働省の方針に基づき、後発医薬品（ジェネリック医薬品）およびバイオ後続品（バイオシミラー）の使用を積極的に推進しています。

## 当院の取り組み



### 品質・安全性の確保

品質・有効性・安全性、安定供給などを薬事委員会で十分に協議し、適切な医薬品を採用しています。



### 積極的な採用

後発医薬品・バイオ後続品の採用を進め、患者さまの医療費負担の軽減に努めています。



### 供給不足への対応

一部の医薬品で供給が不足した場合は、患者さまへの不利益がないよう、適切に対応いたします。



### 丁寧なご説明

医薬品の供給状況などにより投与する薬剤を変更する場合は、事前に十分にご説明し、ご理解を得て対応します。

## 後発医薬品・バイオ後続品とは？

### 後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは



- 先発医薬品（新薬）の特許期間終了後に販売される、同じ有効成分を含む医薬品です。
- 品質・有効性・安全性は先発医薬品と同等であることが確認されています。
- 開発費が抑えられるため、低価格で提供され、医療費の負担軽減につながります。
- 飲みやすさや使いやすさを工夫した医薬品もあります。

### バイオ後続品（バイオシミラー）とは



- 先行バイオ医薬品の特許期間終了後に、他の製薬会社から販売される医薬品です。
- さまざまな試験により、先行バイオ医薬品と同等/同質の品質・有効性・安全性が確認されています。
- 先行バイオ医薬品よりも低価格で、医療費の負担軽減が期待されます。
- 医療保険財政の健全化にも貢献します。



当院では、一般名処方（有効成分の名称で処方すること）を積極的に行っています。特定の医薬品の供給不足が生じた場合でも、必要な医薬品をスムーズにご提供しやすくなります。



## 2026年度（令和8年度）診療報酬改定での主なポイント

1

### 後発医薬品の使用促進

- 後発医薬品の使用割合の目標に基づき、使用促進の取り組みをさらに強化します。
- 患者さまにわかりやすい情報提供を行います。

2

### 長期収載品の選定療養

- 一定の条件を満たす先発医薬品（長期収載品）を希望される場合は、選定療養費をご負担いただく場合があります。
- 詳細は院内掲示またはスタッフまでお尋ねください。

3

### 安定供給への対応強化

- 医薬品の供給状況を常に確認し、患者さまに支障が生じないよう体制を整えます。
- 医療機関や薬局と連携し、適切な医薬品の提供に努めます。



患者さまのご理解とご協力が、安心して持続可能な医療につながります。ご不明な点がございましたら、お気軽にスタッフまでおたずねください。



実施日（適用開始日）  
2026年6月1日  
当院の掲示はホームページにも掲載しています。



医療法人社団 大日会

小金井太陽病院



掲示日（告知日）  
2026年6月1日  
（当院ホームページにも掲載しています）